

さわごい

สมาคมมิตรภาพ ไทย-ชาวสยาม

2008年5月
18号

発行

埼玉・タイ王国友好協会事務局
〒350-1192 川越市田町32-12
武州ガス(株)内 ☎049-247-5428

埼玉・タイ王国友好協会会報

URL: <http://www.saitama-thai-fa.ecnet.jp/>

埼玉王

アジアホープ孤児院に 乳幼児用寄宿舎を寄贈



▲挨拶するチェンマイ日本国総領事館の横田順子総領事



▲建物はコンクリート製で広さは約50坪。中央ホールを囲むように4部屋があり、1部屋に8人計32人を収容できる。



▲すでに入所していた乳幼児達と原会長夫妻

本年度の教育施設建設事業として進めてきた、アジアホープ孤児院への乳幼児用寄宿舎が昨年十二月に完成し、二月十六日その引渡し式が現地で行われました。これに合わせ、第七回親善訪問が実施され、原会長等三十名が式に出席しました。

式典では最初に原会長、同孤児院管理責任者のチュチュ氏が挨拶に立ち、その後チェンマイ日本国総領事館の横田順子総領事とドイサケット郡長が来賓として祝辞を述べられました。続いて原会長によりテープカットが行われ、次に子供たち全員による感謝の歌が披露されました。最後に原会長の奥様を始め訪問団員が用意していったプレゼントを一人ひとり子供たちに手渡しました。

施設の総工費は日本円で約二八〇万円であり、会員からの年会費と(財)埼玉県国際交流協会からの助成金を基に建設されました。また驚いたことに乳児を含む七人がすでに入所しており、この施設がいかに必要とされていたかを物語っていました。

寄宿舎の見学を終えた訪問団一行は、校庭で飲み物や果物、手作りのクッキー等を振舞われ、列席者を始め同孤児院スタッフや孤児達との交流を楽しみました。

本校では最初に原会長、同孤児院管理責任者のチュチュ氏が挨拶に立ち、その後チェンマイ日本国総領事館の横田順子総領事とドイサケット郡長が来賓として祝辞を述べられました。続いて原会長によりテープカットが行われ、次に子供たち全員による感謝の歌が披露されました。最後に原会長の奥様を始め訪問団員が用意していったプレゼントを一人ひとり子供たちに手渡しました。

本校では最初に原会長、同孤児院管理責任者のチュチュ氏が挨拶に立ち、その後チェンマイ日本国総領事館の横田順子総領事とドイサケット郡長が来賓として祝辞を述べられました。続いて原会長によりテープカットが行われ、次に子供たち全員による感謝の歌が披露されました。最後に原会長の奥様を始め訪問団員が用意していったプレゼントを一人ひとり子供たちに手渡しました。



▲テープカットをする原会長



▲プレゼントを渡す安江和廣さん(上)と田村芳人さん(下)▼



▲式典終了後、子供たちと一緒に記念撮影



▲各国から来ているというアジアホープ孤児院のスタッフの皆さん。

第7回親善訪問を実施

本年度の教育施設建設事業としてアジアホープ孤児院に乳幼児用寄宿舎を寄贈したことから、これに合わせて、二月一四日から二〇日まで、第七回親善訪問が実施され、原会長夫妻をはじめ、会員三十人が参加しました。

一行は、一六日、チェンマイ市のアジアホープ孤児院で行われた託児施設の引渡し式に出席した他、チェン

喜びの笑顔に接して



東京都
岡本高俊さん

今回も親善訪問に参加し、会員の皆さんの暖かさ、優しさに触れ、その上貴重な経験と新たな気づきを与えていただき、私にとって大切な良い思い出となりました。

その中で、チェンマイは三日目の訪問でした。長い歴史を持ち、要所に文化財や歴史の産物も多く、落ち着いた、どこか懐かしい風景と豊かな文化が息づくチェンマイ。その緑潤う街の外れにアジアホープ孤児院はありました。

出迎えてくれた子供達は笑顔いっぱい、明く、私が孤児院という名前からイメージしていたものとは大違いでした。職員の方皆さんも世界各国からボランティアで支援していると聞き、胸に熱いものが込み上げてきま

ンマイやバンコク等での観光も楽しみました。なお、この間、原会長は、新たに図書館建設の要望が出て、山岳民族(ラフ族)の小学校を視察、またバンコクでは日本人のために日本語で電話相談をしている「こころのでんわ」代表のチャイヤディロ和子さんを訪ね、意見交換をしました。

した。この子供達が心豊かに育ち、日本大好きな大人になつてくれれば……。明るく元気な子供達の喜びの笑顔が、自分の気持ちの中に、新たな熱き想いを掻き立ててくれたことに感謝しています。

これからも、この会の活動を通じて、タイ王国の人々に接し、友好の輪を広げたいと願っています。

感動と驚きの七日間



東京都
根本雅夫さん

私にとって二回目のタイ訪問でしたが、前回とは異なる経験が出来るのでは、という期待を膨らませつつ成田を出発しました。そして期待通りの訪問となりました。

アジアホープ孤児院での竣工式典では、日の丸を手にかざした多くの孤児達の大歓迎を突然

受けて感激、寄り添って来た幼子の純粋な眼差しに感動を覚えました。孤児たち全員による歓迎の歌を聴きながら、私は埼玉県とタイ王国との「友好以上の心に訴える何かを」感じていました。

また、アンコール遺跡を訪ねた際のトンレサップ湖遊覧で見た光景には衝撃を受けました。中でも幼子に缶ビールなどを持たせ、小船から我々が乗る遊覧船に飛び移らせて商売をする親子の「生きるための貪欲さと執念」に驚き、現在の日本人の恵まれた環境とメンタル面でのひ弱さを思い「生きる時代や環境の違いによってこんなにも違うものか」と複雑な心境を持たざるを得ませんでした。

他にも、タイ人と象との深い関係を再認識し、カンチャナブリ観光ではその美しさの中で戦争の悲惨さを思い知らされるなど、私は「感動と驚き」の思いを胸に帰国したのでした。

ア ル バ ム



▲食事を通じて、会員同士の親善も深まる。



▲カンチャナブリ観光に訪れた参加者達。後方がクワイ河鉄橋。



▲引渡し式に参加した子供達。



▲チェンマイ観光で象に乗る参加者



▲隣国のアンコールワットにも足を伸ばした。



▲ラフ族の小学校の視察に訪れた原会長等は子供達全員の出迎えを受けた。



日本人のための電話相談

「いっしょのでんわ」代表 チャイヤデロ和子さん

第七回親善訪問中の二月一日、原会長夫妻は、バンコクで日本人のために電話相談をしているというチャイヤデロ和子さんを訪ねました。

チャイヤデロ和子さん（五八歳）は、兵庫県生まれで、日本でタイ人の男性と結婚、タイに住んで三十二年になります。



▲チャイヤデロ和子さん（前列）を訪ねた原会長夫妻

十一年前、東南アジアを経済危機が襲ったとき、日本人にも自殺する人が多く出て、何とかしたい、どうしたらいいのか、と考えていたそうです。その当時和子さんは、カウンセリングの講座を受けていて、いのちの電話について聞かされ、「これだ」と思い、すぐに日本の「いのちの電話」本部に連絡を取り、相談員としての講習を受け始めました。そしてバンコクで事務所を開設し、01年から本格稼働、

週二回、七人ほどで始めたそうです。

現在は、ボランティア相談員十四人と一緒に一日六時間、週三回、いつ鳴るともわからない電話を待っています。今、気になっているのはここにさえ電話をして来ない孤独な人達のこと

上尾市で交流会

タイガールガイド連盟指導者が来日

タイガールガイド連盟の会長はじめ指導者等三七名が来日し、三月三十日、上尾市の埼玉県立スポーツ研修センターで、(社)ガールスカウト日本連盟埼玉支部（会長・中根彰子）が主催して交流会が開催されました。

当日は団員をはじめ、地元の子供達や大人一八〇名が参加し、プレゼント交換をしたり、



▲タイダンスを習う団員

だそうです。特に、友人など頼れる人も次々にいなくなつて孤立している高齢者が多いのではないかと心配しています。「電話なら匿名で話せるし、すぐ側にあります。今日も生きてるというだけでも、ぜひかけてきて欲しい」と。

「いっしょのでんわ」はバンコク02・392・2680、毎週日、月、火曜の午前10時から午後4時までです。

タイダンスや和太鼓、三味線、詩吟や剣舞、よさこい踊りを披露し合うなど交流を深めました。当友好協会幹事で、同支部監事の笠井和子氏も出席し、子供達の活発な活動に目を細めていました。当友好協会からも記念品を渡しました。



▲タイダンスが披露された

一行は、四月二日まで滞在上田埼玉県知事を表敬訪問したり、ガールスカウト日本連盟を訪問しての研修、茶道や浴衣の着付け体験など多彩な交流活動をしました。

写真で活動を紹介

十月二二日から二八日まで、川越市のアトレ川越のピーポケットで、当友好協会の発足から今日までの活動を写真で紹介しました。

会場を訪れた人は、「こんな活動があるんですか」と驚く人や「私もタイに行つたことがありません」などと懐かしそうに見入る人の姿も見られました。

期間中、見学にお越し下さった会員の皆様ありがとうございました。



川越国際交流フェスタ2007



十一月十一日、かわごえ国際ボランティアの会主催の「川越国際交流フェスタ2007」が川越市のクレアモール商店街で開催されました。異文化交流と国際交流及び国際ボランティア活動を広く知ってもらおうと開いたもので、当友好協会も参加し、活動を紹介、パンフレットなどを配布しました。

タイ投資セミナー開催

二月二六日、大宮ソニックスティを会場に、機械・金型産業に焦点をあてた投資セミナーが開催されました。これはタイ大使館経済投資事務所（BOI東京事務所）が主催したもので、当友好協会も後援しました。

当日は、原会長、利根幹事他、当協会の関係者も参加し、その他関心のある企業・団体等の関係者約七十名が参加しました。



タイにアクセス

会員 VOICE タイ好き人間になりました

川越市 小掠恭子さん



4年前に入会、昨年親善訪問に参加してタイを知りました。フィリピンや香港には行ったことがあり、その経験から自分はアジアは苦手と思っていました。でもタイはまったく違いましたね。迎合というのではなく、本当に親切で、フレンドリーだと感じました。以前、義父からタイ人は親日で好意的だという話を聞いていましたが、正にその通りでした。

親善訪問で出会った山岳民族の子供達の笑顔が素朴で純真、昭和初期の頃の日本のようだと思いました。また、少数民族には国籍がないこともあるということなども知り、とても驚きました。

もっともっとコマーシャルをして、会員が増えたらいいと思います。

楽しさ、もう一度

親善訪問の写真交換会



▲挨拶する原会長

親善訪問を終えて1ヶ月余り経った3月28日、写真交換会が開かれました。初対面だった人も訪問中にすっかり打ち解け、この日は集まると、挨拶もそこに写真を見ながら思い出話に花を咲かせていました。また、これからの活動への期待や抱負なども語られ、再会を約しながらの散会となりました。

● 今回の親善訪問中、ほとんど汗が出ず、何だか物足りない感じがしました。やっぱりタイは暑い方がいいですね。(〇)

● あなたの周りにある、タイに関する催し、紹介したいお店など情報をお寄せ下さい。(N)

編集後記

バンコクのUIエレクトロニクス
タイランド内
02・712・6575

タイ事務局連絡先

見る・味わう・買う タイ・フェスティバル2008

5月10日(土)・11日(日)
代々木公園イベント広場
入場無料 雨天決行



何と言っても人気は有名レストランのタイ料理が屋台で気軽に味わえること。果物もその場で食べられるようにカット販売していて、マンゴーはもちろん、ドリアン、ランブータンやマンゴスチンも。雑貨類や食材も豊富で割安、まとめ買いする人も多い。ステージではタイ舞踊や民族音楽が披露されます。

ぜひお出かけください。

第10回 総会開催

下記の要領で総会を開催します。
ぜひご出席下さい。

日時 6月5日(木)
15:00~16:50 総会・講演会
17:00~19:00 懇親会

場所 浦和東武ホテル

※会員の皆様には別途、ご案内を送付致します。



▲第9回総会風景

埼玉・タイ王国友好協会ホームページ

URL:<http://www.saitama-thai-fa.ecnet.jp/>

● 会員増強にお役立て下さい

会 員 募 集

年会費 法人会員 2万円 問い合わせ TEL:049-247-5428
個人会員 2千円 FAX:049-246-2118
(武州ガス(株)内)